

「BYWAY後志ROUTE229」が発行されます！

～後志自動車道（余市IC～小樽JCT）開通を契機に歴史誘う国道229号鯉街道へ～

BYWAY後志発行委員会では、小樽開発建設部と協働し余市町から日本海沿岸を走る後志管内の国道229号鯉街道の地域情報を編集した「BYWAY後志ROUTE229」（無料）を発行しますので、下記のとおりお知らせします。

「BYWAY後志ROUTE229」は、後志に暮らす人、後志が大好きな人、後志の可能性を信じている人、後志をもっと面白くしたい人など、後志地域の多くの方々が参加し作成された地域マガジン「BYWAY後志」のバックナンバーから選抜し編集された特集号です。

後志管内の国道229号鯉街道沿線のまちは、江戸時代から鯉漁の繁栄をきっかけに発展し、現在も鯉漁に関わる幕末以降の建物が多く残る地域です。

後志自動車道（余市IC～小樽JCT）開通を契機に、後志管内の歴史誘う国道229号鯉街道沿線のまちにも是非、足をお運びいただきドライブ観光をお楽しみください。

※なお、「BYWAY後志」は、12月4日に開催された日本タウン誌・フリーペーパー大賞2018の授賞媒体発表・授賞式にてタウン誌部門で最優秀賞を受賞しました。

(http://award.nicoanet.jp/tm_12_town.php)

記

- 1 配布日 平成30年12月8日から順次配布
- 2 配布場所 道の駅（道央エリア43駅）、空港（羽田空港、成田空港）、フェリー港（小樽港）、高速自動車道SA・PA（道央自動車道、札幌自動車道、道東自動車道）、レンタカー会社など

※第8期となる北海道総合開発計画では、アジアの中でも特徴的で魅力的な北海道の観光資源を活かし「世界水準の観光地」を目指すこととしており、小樽開発建設部では、北海道随一の多彩な「観光」資源を持つ後志地域において、「世界の北海道を目指して」を牽引するエリアとして取組を進めています。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
特定道路事業対策官 蛸澤 秀則（電話番号 0134-23-5199）
道路計画課長 瀬能 博之（電話番号 0134-23-5229）



後志の奥行きにであう旅を提案するインタビューブック

BYWAY 後志

バイウェイ後志

2018.12
ROUTE 229
SPECIAL EDITION
増刊号

後志の海岸線のまちは江戸時代から鮭漁の繁栄がきっかけとなって発展した。北海道の中でも後志ほど鮭漁に関わる幕末以降の建物が多く残っている地域は見当たらない。

鮭街道・番屋



BYWAY 後志発行委員会



後志(しりべし)地城人からのコアな情報サイト

しりべし ネット

しりべし ネットが11月で毎中大編リニューアルします！スマートフォンでの閲覧に対する表示を最適化するとともに、後志管内24 町町村の SNS と連携することで、「地域版よりの」情報がより充実されます。後志地城人だからこそ見られる、コアな情報を是非お楽しみください。



<http://www.shiribeshi-i.net/>

- 所要時間はいずれも概算です。移動の目安としてください。
- 出典：北の道ナビ 距離と時間検索

BYWAY 後志 (増刊号) ROUTE229 ハイライト 編集版

- 2018年12月7日発行
- 編集/ BYWAY 後志 編集部
- 発行/ BYWAY 後志 発行委員会

BYWAY後志発行委員会事務局
byway@h.phoenix-c.or.jp

BYWAY後志 ● 立ち読みblog
本誌の創刊号から最新号までに掲載されたすべての記事をハイライトでご覧いただけます。本誌が蓄積してきた豊富な情報量に後志の可能性を実現してください。
http://blog.livedoor.jp/byway_shiribeshi2/

表紙写真 舟部町 殿島神社例大祭海上波御
撮影 山田スミ子

余市からの東積丹はシリバライン、岩内からの西積丹はカプトラインと称し、積丹岬・神威岬と結ばれる。国道229号だが、海岸線には大小の奇岩など変化に富む風景が連続していて、旅人の目に楽しい。

江戸時代からニシン漁で栄えていたため、それを偲ぶ遺産が点在している。この半島の最大の特徴だ。

たとえば、余市町豊浜にある「ソーラン節発祥の地」碑は、千石場所の名残を示す記念碑。正調北海ソーラン節の発祥を記念して昭和三十六年に建立された。ヤーレン、ソーランの掛け声ではじまり、こう続く、

沖の鷗が 物言うならば

便り聞いたり 聞かせたり

鯨くるかと 稲荷にきけば

どこの稲荷もコンと鳴く

今宵一夜は 緞子の枕

あすは出船の 波まくら

余市よいとこ 一度はござれ

波に 黄金の波が立つ

(以下略)

木原正隆著
『北海道文学ドライブ第一巻』より(2008年、インポート工学研究所刊)

本誌は2007年の発刊以来、後志の情報発信と発信を続け2018年に第20号が発刊された地域マガジン“BYWAY 後志”のバックナンバーから、国道229号沿線の地域情報を選抜し再編集したものです。掲載にあたってはオリジナルの記事を大幅に短縮しております。もっと記事内容を詳しくお知りになりたい方は、どうぞバックナンバーをご購入ください。

BYWAY後志発行委員会事務局
byway@h.phoenix-c.or.jp

バックナンバーの購入ご希望の方は近隣の書店で取り寄せいただくか、**各1,000円** (税別) BYWAY後志発行委員会までメールでお申し込みください。送料無料でお届けいたします。

BYWAY 後志 special thanks

BYWAY後志は後志に暮らす人、後志が大好きな人、後志の可能性を信じている人、後志をもっと面白くしたいと思っている人、多くのみなさんの参加により制作されています。みなさまのご協力に感謝申し上げます。

- | | | | | |
|--|--|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
|
池本美紀
長濱きの丸荘 (神宮内町) |
磯崎至矢子
元 西村村 紀元美術館 学芸員 |
大類幸子
高校内ふなの森自然学校 |
尾森加奈恵
ニッカウチスキー 余市商港所 |
菊地昌子
(ニセコ町) |
|
工藤一美
(野内町) |
駒水定正
歴史地理研究者 (小樽市) |
小俣 寛
(渡人) |
清水武男
写真家 (渡人) |
鈴木幸子
元 NPO 継せる北海道 |
|
高木瑞光
高校内ふなの森自然学校 |
田中崇美
株式会社 藤 (岩内町) |
田名辺信行
元 古平町 役場 |
田村陽子
茶屋 (蘭越町) |
西村なぎさ
南野カメラ経営 |
|
藤田 洋
はまなす対面 |
松田真一
岩内町役場企画課 |
松原研二
松原農産代表 (蘭越町) |
松橋京子
元 BYWAY後志 編集長 |
関村奈未子
元 高校内ふなの森 自然学校 |
|
山田スミ子
写真家 (ニセコ町) |
山本竜也
高校・青年・高校内の 学生、北海道空響の 調査研究 |
吉澤 隆
高校ユースホテル ベアレント |
吉田典見
カナタ百貨店 蘭越店 (岩内町) |
渡邊智高子
札幌開発建設部 |
|
Shouya P.T.Grigg
クリエイティブディレクター (筑前町) |
小川原 格
BYWAY後志 発行委員長 |
松田裕子
BYWAY後志 編集長 |
久須美真男
BYWAY後志 コーディネーター | |